

(事業計画書様式1)

1 施設概要

公園名	児童遊園地（教養施設を除く。）、こども植物園
所在地	【横浜市こども植物園】 南区六ツ川 3-122
公園面積、公園種別	【横浜市児童遊園地】 保土ヶ谷区狩場町 213
主な施設	【横浜市こども植物園】 花壇・バラ園、果物園、野草園、花木園、生垣園、温室、展示研修館 【横浜市児童遊園地】 花壇、竹林、梅園、運動広場、遊具（健康遊具、すべり台等）
特徴	【横浜市こども植物園】 昭和54年の国際児童年を記念して、(1)植物の収集・展示と緑化思想及び技術の普及啓もう(2)都市緑化植物園及び自然植物園(3)児童・生徒の教材園の機能を持つ植物園として開園しました。また、博物館類似施設であり、都市緑化植物園でもあります。園内には、花木や果樹、シダ、竹等多様な植物が栽培展示されています。 【横浜市児童遊園地】 学制50周年事業として、大正11年から本公園整備運動が始まり、これが由来となり整備を実施し公開されました。戦後の接収により英連邦墓地として使用され、隣接地を買収して整備を再開し、昭和55年に再公開されました。広域避難場所に指定されています。
公園開園日	【横浜市こども植物園】 1979（昭和54）年6月23日 【横浜市児童遊園地】 1929（昭和4）年10月

2 指定管理者概要

指定管理者名	公益財団法人 横浜市緑の協会
代表者名	理事長 福山 一男
所在地	横浜市中区日本大通 58
指定管理期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成22年4月1日

(事業計画書様式2)

1 公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）

<p>こども植物園・児童遊園地の特性を活かし、当団体が掲げるビジョン（管理期間中の目標）の達成に向けた着実な管理運営に取り組みます。</p> <p>当公園の管理運営においては、植物を中心とした自然環境や花と緑にまつわる知識や文化などを守り、次世代に継承していく重要拠点とするため、「伝え育もう！花と緑の守りびと」を基本方針（ビジョン）とします。</p>
--

2 基本的な管理運営方針（ミッション）

<p>指定管理者に求められる基本的役割を果たし、かつ上記ビジョン実現のため、公園の特性を踏まえた5つのミッション（果たすべき役割）に取り組みます。</p> <p>・ミッション1 花と緑の魅力を伝える体験プログラムの展開</p>

- ・ミッション2 貴重なコレクションの保全と植物の魅力や園芸文化の継承
- ・ミッション3 都市緑化植物園の機能発揮による市域の緑化推進人材の育成支援
- ・ミッション4 多様な生きものが生息する豊かな自然環境の整備
- ・ミッション5 地域防災力の強化

3 運營業務の実施計画・取組

今年度の管理運営方針を実施するための取組

- (1) ミッション1 花と緑の魅力を伝える体験プログラムの展開
小学生を対象とする「みどりの学校」や植物に親しむ体験講座など、花や緑に直接ふれあうプログラムを多数展開し、人々の花と緑に対する興味・関心や愛着を育みます。
- (2) ミッション2 貴重なコレクションの保全と植物の魅力や園芸文化の継承
博物館類似施設として、植物コレクションの維持・継承に取り組むとともに、幅広い世代が植物の魅力や園芸文化について楽しく学べる企画と展開します。
- (3) ミッション3 都市緑化植物園の機能発揮による市域の緑化推進人材の育成支援
市内唯一の都市緑化植物園として、横浜市域の緑化活動に取り組む人々を育成支援します。
- (4) ミッション4 多様な生きものが生息する豊かな自然環境の整備
多様な生きものが暮らす自然環境を整備するとともに、里山の美しい景観を保全・管理します。
- (5) ミッション5 地域防災力の強化
地域との協働による防災訓練や体制づくりを通じて、地域の防災力の強化に貢献します。
- (6) その他
来園者や職員の安全・安心を積極的に確保するため、横浜市のガイドラインに則り新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を徹底します。

4 管理運営体制、人員の配置と研修計画

(1) 管理運営体制

職種	人数(名)	役割
園長(施設長)	1	責任者
副園長(副施設長)	1	副責任者
緑のスペシャリスト(職員)	3	施設管理、維持管理、緑の相談所の相談業務、講座の計画・運営、企画展示の計画・運営
緑のスペシャリスト(パート)	5	施設管理、維持管理、緑の相談所の相談業務、講座の実施、企画展示の実施
園地スタッフ(パート)	5	施設管理、維持管理
清掃スタッフ(パート)	2	施設清掃
運営スタッフ(職員)	1	運営管理
運営スタッフ(パート)	1	運営管理

(2) 勤務体制

職種	主な業務内容	勤務体制(目安)
園長(施設長)	統括、事業・予算管理、運営管理	週 5

副園長（副施設長）	統括補佐、園地管理統括、施設管理統括、運営業務	週 5
緑のスペシャリスト（職員）	見本園の植物管理業務・維持管理、圃場での栽培管理業務、緑の相談所の相談業務、講座の企画・運営・実施、企画展示の計画・運営・実施	週 5
緑のスペシャリスト（パート）		週 4
園地スタッフ（パート）	巡視・点検、植栽・園地・施設の管理	週 5(うち1名) 週 4
清掃スタッフ（パート）	施設清掃	週 4
運営スタッフ（職員）	運営事務、経理、広報	週 5
運営スタッフ（パート）		週 4

・勤務体制は6～10名を基本とし、繁忙日は増員するなど、柔軟に対応します。

(3) 人員体制の考え方・職能等

- ・園長は、施設の管理運営やスタッフの指導育成など、公園全体をマネジメント、また、防災士の取得者
- ・副園長は、園長の補佐、園地・施設の管理運営の実施、また、上級救命士の受講者
- ・緑のスペシャリストは、豊富な植物管理の知識を活かした見本園・圃場の維持管理、緑の相談所の相談業務を実施、講座の企画・運営・実施、展示の企画・運営・実施
- ・園地スタッフは、植物管理の知識を活かした維持管理の実施、施設の維持管理の実施 刈払機・チェンソー等作業機器講習の受講、遊具点検研修の受講
- ・清掃スタッフは、施設の清掃を実施
- ・運営スタッフは、庶務、経理、労務などの事務処理、広報業務

(4) 職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について

- 「公園管理のプロを育てる」を到達目標に、人材育成に取り組みます。
- ・研修は、①利用者対応・管理運営に関すること②園地管理に関する研修③管理職の業務に関することをテーマに実施
 - ・目標管理制度、職員表彰制度の運用

(事業計画書様式3)

1 利用者サービスの向上・利用促進策

- (1) 子ども向けの花と緑の体験プログラムの提供
 - ・こどもが興味を持つ題材をテーマとして気軽に参加できる「子ども（親子）講座」の実施
 - ・季節の移り変わりや植物の生長を体験できる「年間継続プログラム」の実施
 - ・小学校5・6年生を対象に収穫体験などを行い、植物の成り立ちや収穫の喜びを伝える「みどりの学校」の実施
- (2) 幅広い世代に向けたプログラムの実施
 - ・花と緑を題材にした絵本の読み聞かせや草木染めなど「読み聞かせと自然遊び」の実施
 - ・園内の見ごろの植物などを紹介しながら散策する「園内ガイド、季節や企画展に合わせたスペシャルガイド」の開催
 - ・樹名板・草名板の充実
 - ・世代を問わず、自然に親しみ交流できる場の創出を目的とした「季節のお祭りやイベント」の開催

- (3) 季節に応じた企画展の開催
 - ・植物の不思議や面白さを伝える「子どもから大人まで植物の不思議や面白さを伝える企画展」の実施
 - ・当園でコレクションしている日本の古典園芸植物等の展示を行う「伝統園芸植物、日本の園芸文化を伝承する企画展」を実施
- (4) 植物園ならではの大人向け講座の開催
 - ・植物の育て方や管理方法を指導する「ガーデニング講習会」の開催
 - ・植物園・児童遊園地の植物を活用した「大人向け講座」の実施
- (5) 都市緑化植物園としての機能強化
 - ・緑の相談所の充実
 - ・小学校や区の施設など外部団体から依頼の「緑のスペシャリストによる出張講座」の開催
 - ・都市緑化植物園として観賞機能を強化するため、見本園に新たな植物を導入するなど、「花の見どころづくり」の創出
 - ・日常生活で体験する植物との関わりをガイドする「体験する植物園（ガイド）」の実施
 - ・はまみらいや副産物の販売
- (6) 利用者が自然に親しむための環境整備
 - ・花修景による新たなみどころづくり
 - ・水辺を中心に、たくさんの生きものが暮らす「いきものサンクチュアリ」を整備
- (7) 地域防災力の強化への貢献
 - ・地元自治会と協働で防災意識向上を図るため「防災キャンプ」への参加
 - ・近隣区役所と協働し、「防災マップ」の配布

2 広報・プロモーションの取組

- ・HP、SNS を活用し、イベント情報や季節の植物情報などをタイムリーに発信
- ・HP でサクラの開花情報を提供
- ・団体の広報誌「季刊誌みどり」、近隣学校へのチラシ配布、植物園独自の広報誌、フリーペーパーなどによる情報発信を実施
- ・広報よこはま各区版、タウンニュース、ベイキッズなどのフリーペーパー、プレスリリースやマスメディアの取材対応等によるパブリシティ活用

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

- (1) 公園ボランティア
 - ・公園内で清掃、除草、花壇管理などの活動を行う公園ボランティアの募集、育成（みどりの学校サポーター、バラ、宿根草、花壇、竹ボランティア）
- (2) 近隣市民との協働
 - ・各種園芸団体の協力のもと企画展等を実施（山野草展、菊花展等）
 - ・学校、近隣施設などにタケやユズなどの副産物を提供
- (3) 市民団体の活動の支援
 - ・資材の提供や市民活動保険の申請などのボランティア活動支援
 - ・横浜植物会による標本整理支援
 - ・よこはまリズム研修会の活動支援
 - ・近隣区の理科研究会研修受け入れ
- (4) 障害者の自立を支援する取り組みに協力
 - ・職業体験、収穫体験の受け入れ

- ・障害者就労支援施設によるイベントへの出展（落ち葉感謝祭）
- (5) 人材育成
- ・よこはま緑の推進団体、緑の推進リーダー育成支援
 - ・博物館研修の受け入れ

4 災害時の緊急対応

- (1) 緊急時対応
- ・横浜市防災計画に基づく、「災害対応マニュアル」を整備し、状況に応じた配備体制の構築
 - ・関係機関を含む緊急連絡網の整備
- (2) 災害対応
- ・広域避難場所としての対応
 - ・情報受伝達、非常時参集、防災訓練といった各種訓練を実施
 - ・災害時優先電話を配備、業務用携帯電話への市防災メールを登録、緊急地震速報自動放送システムを整備
 - ・災害対応機材を配備
- (3) 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策
- ・マスク着用、手洗いうがい、手指の消毒、室内換気の実施
 - ・横浜市のガイドラインに沿った感染症拡大防止対策の実施

5 安全対策・防犯対策

- (1) 安全対策
- ・AED（聴覚障害者・小児対応型）の設置と設置場所の掲示
 - ・気象注意報（光化学スモッグ注意報・高温注意情報等）発令・発表時の注意喚起
 - ・危険な生物（ハチ、チャドクガなど）の防除、有毒植物の注意喚起
 - ・巡回・点検の徹底による事故・火災防止、初期消火機器取り扱いの習得
- (2) 防犯対策
- ・市防犯メール登録、「子ども110番の家」登録、コールセンター設置による通報体制の継続、機械警備の設置
 - ・「横浜市子どもの安全の日」啓発
- (3) 維持管理作業での対応
- ・複数名による作業の実施
 - ・草刈作業は、小石の飛散防止シートでの養生か作業範囲の立入禁止措置の実施
 - ・車両での園内走行時は、ハザードランプ点灯と徐行
 - ・作業機器取扱い者は、安全衛生教育を受講
 - ・安全帯、ヘルメット、ゴーグルなどの安全装備着用の徹底

6 苦情・要望への対応・不法行為対策について

- 公園利用者がルールを守り、快適に過ごせる園内環境づくりに取り組みます。
- ・横浜市公園条例、環境創造局「公園に関するよくある質問」の公園利用ルールに基づき、適切な利用指導を行います。
 - ・植物の採取行為を確認した場合は、「横浜市公園条例」に基づき、適切に指導します。
 - ・硬球のキャッチボールやゴルフの練習などの危険行為は、声がけし、ご遠慮いただきます。
 - ・池での投釣りや、柵を乗り越えての危険な利用がないよう、適切に指導します。
 - ・ゴミの持ち帰り、遊具広場など子どもの利用が多い場所での受動喫煙防止、譲り合っの広場や

遊具の利用を看板等で案内・声がけし、ご協力をお願いしていきます。

- ・ 焚火跡などの危険な行為跡を見つけたときには、警察、消防に通報し、情報共有を行い、現場には注意を促す看板を掲示して、事故を未然に防ぐよう努めます。

7 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮

- (1) 自然素材を活用した生物多様性を育む環境づくり
 - ・ 剪定枝など自然素材を活用した土留め柵「カントリーヘッジ」を設置し、昆虫や生きものの生息環境を創出
 - ・ 「横浜市森づくりガイドライン」に沿った管理
- (2) ガーデンネックレス花壇の設置
- (3) 省エネ・環境負荷低減
 - ・ 不要な照明や電子機器類の電源オフ
 - ・ クールビズ・ウォームビズの実施
 - ・ ごみの分別とリサイクル、廃棄物の削減
 - ・ グリーン電力や再エネ 100%電力の導入
- (4) 維持管理業務における環境負荷低減
 - ・ 剪定枝や刈草のリサイクル施設での処理
 - ・ 落葉や剪定枝、園内発生材などの堆肥化を推進、園内の花壇・プランターなどでの利用

8 個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

- (1) 個人情報保護・情報公開
 - ・ 個人情報保護は、当団体の個人情報保護方針、個人情報保護規程に基づき管理
 - ・ 情報公開は、情報の公開に関する規程に基づき対応
 - ・ 個人情報保護研修を実施
- (2) 人権尊重・障害者差別解消
 - ・ 人権啓発研修（障害者差別解消も取り扱う）を実施
 - ・ カラーバリアフリーやウェブアクセシビリティについての教育を実施

（事業計画書様式4）

1 公園の維持管理の基本方針

- ・ 市内唯一の植物園として、サクラソウやハナショウブなどの貴重なコレクションや伝統的な栽培技術などを活用・継承することを目標とし、ゾーンごとに専門知識を持った緑のスペシャリストを配置することで、高水準な管理の維持に努めます。
- ・ 児童遊園地を横浜の里山風景の残るまとまった緑の拠点としてとらえ、多様な生物の生育環境を維持することを目標とします。
- ・ こども植物園の専門性の高いスタッフが児童遊園地のスタッフと連携することで、児童遊園地の植物自然の保全や児童遊園地をフィールドとした環境教育を実施し、一体的管理による相乗効果を目指します。
- ・ 建築物や遊具などの施設は、日常・定期点検を行うことにより劣化箇所を早期に発見し、予防保全型の計画的な修繕を行うことで施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストを縮減します。
- ・ 花壇や花畑をガーデンネックレス花壇として位置づけ、ガーデンネックレス横浜の PR に協力します。

2 公園施設・設備の維持管理

- (1) 標本館
 - ・年1回の標本の燻蒸、月1回の館内清掃を実施
- (2) 温室
 - ・年1回、屋根および壁面ガラスの清掃を実施
- (3) 植物ラベル
 - ・植物を確認し、適切に設置・更新
- (4) 遊具
 - ・毎日の目視点検に加え、触る・揺らす・乗る・叩く等の点検を日常的に実施
 - ・点検実施者は、日本公園施設業協会主催の遊具点検研修を受講
 - ・市の基準に基づく日常点検、定期点検のほか、独自に月1回の定期点検を実施
- (5) 管理事務所・展示研修館
 - ・日常点検、定期点検のほか、年1回施設管理者点検マニュアルに沿った点検を実施
 - ・建物の状態を適宜市に報告し、指定管理者として今後の管理・改修・補修計画を提案
 - ・室内清掃、トイレ清掃は来園者が利用することを踏まえ、毎日実施
- (6) 水飲み・手洗い
 - ・巡視・点検時に本体・蛇口の破損や水漏れ、衛生面を重視した確認を行う。
 - ・ガラスや金属片などの危険物の状況に注意し、発見時は速やかに撤去
 - ・排水桝の点検、泥あげ
- (7) 手すり・鉄柵・支柱
 - ・植物園手すりの水ふき清掃
 - ・必要に応じて防錆塗装などの補修を実施
 - ・触診や打診による定期点検（年4回）を実施

3 公園施設・設備の修繕計画

- ・設備や遊具等は、定期点検や精密点検を活用し、施設の健全度・劣化状況を把握し、報告
- ・把握した内容に基づいて優先度を評価し、予防的修繕を実施することで長寿命化を推進
- ・ベンチや園路等は、日常巡視・点検等により異常を把握し、利用者の安全確保を最優先に、異常箇所の修繕を随時実施（老朽化施設は市と協議し、更新）
- ・建物の経年劣化による雨漏りの調査、確認を実施。横浜市への正確な状況報告を行い、修繕工事のための調査に協力

4 樹木・植栽等の管理

- (1) 博物館類似施設として、植物コレクションを保全し、植物の役割を分かりやすく伝える展示を実施（こども植物園）
 - ・ゾーンごとの特性に応じた維持管理
 - ・ガーデンネックレス横浜のPRへの協力
- (2) 多様な生きものが生息する豊かな環境を育む（児童遊園地）
 - ・いきものサンクチュアリの整備
 - ・生態系に配慮した順応的管理の実施
- (3) 横浜の美しい里山景観を保全、管理（児童遊園地）
 - ・横浜の里山を代表するヤマユリの増殖
 - ・園地の特性を生かした季節の見どころづくり
 - ・ナラ枯れ等による枯損木、枯れ枝の剪定、除去
 - ・早春の草本類を芽吹かせるための草刈りの実施
 - ・横浜市のイベントに協力し、草本類の種の観察ができるような草刈り計画の実施

5 巡視・清掃

- ・「公園ハザードマップ」・「巡視ルート図」を活用し、細やかな巡視・点検を徹底
- ・土砂崩れ、倒木、強風時の枝折れに十分注意し、特に住宅地と隣接する場所は重点的に巡視・点検を実施
- ・日常巡視・点検を1日2回実施
- ・定期巡視・点検を市のマニュアルに則り実施
- ・特別巡視を気象警報解除後、震度5弱以上の地震発生時に実施
- ・法定点検およびそれに準ずる点検は専門業者に委託し、点検結果に従い、不備の箇所の早期解消に務め、また、修繕計画に反映させる
- ・園路等のゴミ拾い・転倒防止のための落ち葉の掃除を実施
- ・特にトイレについては、毎日清掃、必要に応じて臨時清掃を実施
- ・こども植物園 ベンチ、手すりの水ふき清掃

(事業計画書様式5)

無料事業実施計画一覧(自主事業含む)

事業名	内容(募集人数・一人当たりの参加費)	新規	実施時期	回数
●幅広い世代に向けたプログラムの実施				
絵本の読み聞かせと自然遊び	近隣保育園と協働して絵本の読み聞かせと園内での自然遊びを実施(対象:未就学児の親子)		通年 (8・2月 除く)	10
園内ガイドツアー	利用者に花や樹木の魅力、季節の見所を分かりやすく伝えるガイドを実施(5・11月はスペシャル)		通年 (8・2月 除く)	10
企画展示スペシャルガイド	企画展開催時に、特別ガイドを実施し、ガーデンネットワーク横浜をPR		5、11月	2
季節のお祭り・イベント	季節を感じるお祭りなどを開催し、世代を問わず、自然に親しみ交流できる場を創出(5・11月のお祭りは有料自主事業として計画)		7、1、 3月	3
セルフガイドツールの充実	こども植物園内10ヶ所にQRコードを掲示し、スマートフォンでその場所のガイド(自動音声読上げ)やクイズを楽しめるようにする		随時	随時
樹名板・草名板の充実	樹名板・草名板を充実し、説明板やクイズ看板とあわせて、散策しながら学べる環境を整える		随時	随時
●季節に応じた企画展の開催				
・子どもから大人まで植物の不思議や面白さを伝える企画展				
バラ展	バラの歴史や利用法などのパネル展示		5月	1
ヤマアジサイ展	各種ヤマアジサイの鉢物展示 協力:個人名の為記載せず		5月	1
昆虫と植物展	昆虫と植物のかかわり方の解説やこども植物園保存の昆虫標本の展示		7、8月	1
食虫植物展	さまざまな仕組で虫を捕える食虫植物を解説とともに展示		8月	1
植物標本展	おもに横浜をテーマにした植物標本の展示 協力:横浜植物会		9月	1
柿展	柿についてのさまざまな解説や園内の柿の実物を展示		10月	1
さつき秋季展	さつき盆栽の樹形を楽しむ展示 協力:横浜さつき愛好会		11月	1

こども植物園写真展	園内の見どころなどを紹介する作品を展示 協力：写真サークル「どんぐり」		11月	1
こめ展	米の原料であるイネについてのパネルやいろいろな品種の標本などを展示		12、1月	1
めでたい植物 (ミニ展示)	正月に飾られる縁起の良い植物をその言われとともに展示		1月	1
みどりの発見コーナー (ミニ展示)	冬芽についての展示		2月	1
横浜ばら会写真部写真展	横浜ばら会の写真部のみなさんの作品展 協力：横浜ばら会		2、3月	1
ボタニカルアート教室作品展	ボタニカルアート教室受講生による作品展		3月	1
・伝統園芸植物、日本の園芸文化を伝承する企画展				
さくらそう展	古典園芸植物・サクラソウの品種を伝統的な手法である「桜草花壇」で展示		4月	1
さつき盆栽展	開花時期のさつき盆栽の展示 協力：横浜さつき愛好会		5月	1
山野草展	初夏の山野で見られる草花の鉢物展示 協力：横浜山草会		6月	1
花菖蒲展	系統保存している山形県長井市に伝わる花菖蒲「長井古種」の展示		6月	1
菊花展	大菊、小菊、古典菊、野生菊の鉢物展示 協力：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会長生会		11月	1
●都市緑化植物園としての機能強化				
緑の相談所の充実	専門知識のある緑のスペシャリストが常駐し、窓口・電話・メールなど市民から寄せられる緑に関する様々な相談に回答		通年	通年
緑のスペシャリストによる出張講座	多様な主体からの依頼を受け、植物の育て方や植え方、見分け方の講座、植物観察会などを実施		随時	20
花のみどころづくり	緑化植物見本園に新たな植物を導入し、花のみどころを創出		随時	随時
体験する植物園	有用植物を植栽し、植物との関わりをガイドし、学習機能の強化を図る		随時	随時
●利用者が自然に親しむための環境整備				
花修景による新たなみどころづくり	児童遊園地の花修景により、横浜の里山の原風景を再現		随時	随時
いきものサンクチュアリ	児童遊園地の池・流れを中心に、たくさんの生きものが暮らす「いきものサンクチュアリ」を創出・整備		随時	随時
●地域防災力の強化への貢献				
防災マップの配布	近隣区役所と協同し、防災マップを掲示・配布		通年	通年
防災キャンプ	地元自治会の防災キャンプに参加し、協力体制の構築と防災意識の向上を図る		8月	1
●その他				
「よこはま緑のまちづくり基金」募金箱設置	市内の緑化推進や環境保護等に寄与する募金活動を実施		通年	通年

有料事業実施計画一覧（自主事業含む）

事業名	内容（募集人数・一人当たりの参加費）	新規	実施時期	回数	自主事業予算額（円）	
					総経費	収入
●子ども向けの花と緑の体験プログラムの提供						
・子ども（親子）講座						
収穫1 （タケノコ）	児童遊園地の竹林でタケノコの収穫体験と日本の竹文化を理解する（15組×1,000円）		4月	1	5,000	15,000
サイエンス1 （葉の仕組）	いろいろな植物の葉を触って違いを観察し葉の働きを理解する（10組×1,000円）		5月	1	10,000	10,000
収穫2 （ウメ）	児童遊園地の梅林でウメの収穫体験と梅の実の利用方法について学ぶ（15組×1,000円）		6月	1	5,000	15,000
生活文化1 （糸紡ぎ）	繊維として利用する植物について理解し、綿から糸を紡ぐ体験をする（10組×1,500円）		7月	1	15,000	15,000
生活文化2 （夏の草木染）	染色に使用する夏の植物について学び、草木染めを体験する（10組×1,500円）		8月	1	15,000	15,000
こども写真教室	ピンホールカメラをつくりカメラの原理を学び、植物を記録する方法を体験する（10組×1,000円）		8月	1	20,000	10,000
宿題お助け隊	夏休みの自由研究を支援する講座として、アイの葉を叩いて染めつける体験を実施（20組×500円）		8月	1	10,000	10,000
食虫植物	特殊な形態を持つ食虫植物をルーペ等で観察して、体の仕組みを理解する（10組×1,000円）		8月	1	2,000	10,000
エジソンのマダケで点灯実験	発明王エジソンが電球のフィラメントに竹を使ったことから、竹炭を作って点灯実験をする（5組×2回×1,000円）		8月	1	20,000	10,000
木の実を使ったかべかざり	園内で採取できるいろいろな形の木の実を観察し、かべかざりを作る（10組×1000円）		10月	1	10,000	10,000
食文化1 （どんぐり）	かつて食材として利用されてきたどんぐりについて学び、おだんごを作ってどんぐりの味を知る（10組×1000円）		10月	1	5,000	10,000
生活文化3 （秋の草木染）	染色に使用する秋の植物について学び、草木染めを体験する（10組×1,500円）		10月	1	15,000	15,000
サイエンス2 （種子の不思議）	いろいろな植物の種子を観察し、植物の生き残り戦略について理解する（10組×1,000円）		11月	1	10,000	10,000
食文化2 （干柿づくり）	くだもの園の柿を使って、伝統的な保存食である干柿をつくり、日本文化を理解する（15組×1,000円）		11月	1	5,000	15,000
食文化3 （こんにゃく）	日本の伝統食であるこんにゃくの歴史について学び、こんにゃくを芋から作る（10組×1,000円）		12月	1	30,000	10,000
クリスマスリース作り	園内で採取できる木の実や針葉樹の葉を観察し、クリスマスリースを制作（10組×1500円）		12月	1	15,000	15,000
みどりの学校	小学生を対象に野菜の植え付けや収穫体験、自然観察を行う（10人×4,000円）		4、3月	13	40,000	40,000
●幅広い世代に向けたプログラムの実施						
・季節のお祭り・イベント						

春祭り	季節の移り変わりや春の芽吹きが感じられるお祭りを実施		5月	1	100,000	129,000
落ち葉感謝祭	環境活動支援センターの「農と緑のふれあい祭り」と同時開催し、自然の恵みが感じられるお祭りを実施		11月	1	100,000	129,000
●植物園ならではの大人向け講座の開催						
・ガーデニング講習会						
さつき盆栽作り	さつき盆栽の栽培について、実技を行いながら全3回の連続講座を実施（全3回で20人×3,500円）		4、6、10月	3	60,000	70,000
ランの育て方	ランの年間管理等について学ぶ講習会を実施（20人×2,000円）		5月	1	40,000	40,000
多肉植物の育て方	多肉植物の管理や栽培の基本を学ぶ講座を実施（20人×3,000円）		6月	1	40,000	60,000
初夏の寄せ植え	人口の土を用いて植物を育てる栽培方法「ハイドロカルチャー」を季節の花材を使った寄せ植えを通して学ぶ講習会を実施（20人×3,000円）		6月	1	60,000	60,000
家庭菜園	家庭菜園に挑戦し野菜作りの基本とポイントについての講習会を実施（20人×1,000円×2回）		9、3月	2	40,000	40,000
冬の寄せ植え	季節の花材で寄せ植えを作り、長く楽しむための管理を学ぶ講座を実施（20人×3,000円）		11月	1	60,000	60,000
果樹の剪定講座1～3	ウメ、カキ、ブドウなどの果樹の剪定や育成方法を修得する講習会を実施（各回20人×1,000円）		11、12月	3	15,000	60,000
バラの育て方1	バラの剪定方法や栽培の基本を学ぶ講座を実施（10人×3,500円）		12月	1	35,000	35,000
バラの育て方2	バラの剪定方法や栽培の基本を学ぶ講座を実施（20人×1,000円）		2月	1	10,000	20,000
サクラソウの育て方	サクラソウの管理や栽培の基本を学ぶ講座を実施（20人×1,000円）		2月	1	20,000	20,000
・大人向け講座						
フラワーアレンジメント1～7	季節の植物を使ったフラワーアレンジメント講座を実施（各回15人×3,000円）		通年	7	217,000	315,000
かご編み講座1～2	つるや草、シュロを使ったかご編みの作成講座を実施（各回10人×2,000円）		5、9月	2	6,000	40,000
初心者向けボタニカルアート体験教室	植物園内の草花を教材に、ボタニカルアートを完成させる講座を実施（全6回で12人×7,500円）		9～2月	1	90,000	90,000
門松づくり	植物園内の資材を利用し、オリジナルの門松の作成講座を実施（12人×2,500円）	○	12月	1	30,000	30,000
●都市緑化植物園としての機能強化						
はまみらいの育成販売	はまみらいを育成・展示・販売することで、はまみらいの普及に努める		随時	随時	160,000	300,000
副産物の販売	園内で利活用後の余剰収穫物を販売		随時	随時	0	100,000
ポストカードの販売	植物園内の花を撮影したオリジナルポストカードの作成・販売		通年	随時	100,000	30,000

(事業計画書様式6)

業務の第三者委託一覧

業務名	内容	再委託会社	年回数	実施月	契約方式
標本館燻蒸	標本館に収蔵されている標本の燻蒸	R 3年度中に見積合わせ	1	4月	見積合わせ
井戸水位及び揚水量測定	測定業務 1回/月	R 3年度中に見積合わせ	12	毎月	見積合わせ
運搬車点検	運搬車の点検	R 4年度に見積合わせ	1	4月	見積合わせ
菊鉢運搬	菊花展用菊鉢の運搬	R 4年度に見積合わせ	1	11月	見積合わせ
自動ドア保守点検	事務所・展示研修館の自動ドアの保守点検	R 3年度中に見積合わせ	3	6、11、2月	見積合わせ
清掃(標本館)	維持管理水準書記載の特別清掃等	R 3年度中に見積合わせ	12	毎月	見積合わせ
機械警備	建物の機械警備	R 3年度中に見積合わせ	通年	通年	見積合わせ
消防設備点検	機器点検 1回/6か月 総合点検 1回/年	R 3年度中に見積合わせ	2 1	9、3月 3月	見積合わせ
園地管理	維持管理水準書記載内容の園地管理作業のうち、大規模な作業	横浜市グリーン事業協同組合	随時	通年	随意契約
音声ガイドシステム	音声ガイドシステムのサーバー管理	(株)アボックス社	1	4月	随意契約
園内灯設備保守点検	巡視点検 1回/年 部品交換 随時	R 3年度中に見積合わせ	1 随時	4~6月 通年	見積合わせ
自家用電気工作物点検	月次点検 1回/月 年次点検 1回/年	R 3年度中に見積合わせ	12 1	毎月 2月	見積合わせ
空調設備保守点検	冷房暖房運転前 2回/年 フィルター清掃 2回/年 簡易点検 4回/年	R 3年度中に見積合わせ	2 2 4	6、9、 12、3月	見積合わせ
放送設備保守点検	放送設備の点検	R 3年度中に見積合わせ	1	11月	見積合わせ
遊具精密点検	横浜市公園施設点検マニュアルに従い、遊具の精密点検	R 4年度に見積合わせ	1	12月	見積合わせ
夜間緊急対応	児童遊園地の夜間緊急時の警備	R 3年度中に見積合わせ	随時	通年	見積合わせ
一般廃棄物収集・運搬・処分	一般廃棄物の収集運搬処分	R 3年度中に見積合わせ	随時	通年	見積合わせ
産業廃棄物収集・運搬・処分	産業廃棄物の収集運搬処分	R 3年度中に見積合わせ	随時	通年	見積合わせ
トイレ節水装置点検	児童遊園地のトイレの節水装置点検	R 3年度中に見積合わせ	1	未定	見積合わせ
年末年始巡回警備	年末年始の巡回警備	R 4年度に見積合わせ	1	12、1月	見積合わせ
トイレ清掃委託	児童遊園地のトイレ清掃(361日/年)	Green Job Spport	361	通年	随意契約

(事業計画書様式7)

収支予算書 (指定管理事業のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	94,397,700	0	94,397,700	0	94,397,700	
利用料金収入	0	0	0	0	0	
自主事業収入	1,863,000	0	1,863,000	0	1,863,000	
雑入	0	0	0	0	0	
その他雑入	0	0	0	0	0	
収入合計	96,260,700	0	96,260,700	0	96,260,700	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	49,835,700	0	49,835,700	0	49,835,700	
給与・賃金	40,122,700	0	40,122,700	0	40,122,700	
社会保険料	6,351,000	0	6,351,000	0	6,351,000	
通勤手当	3,112,000	0	3,112,000	0	3,112,000	
健康診断費	250,000	0	250,000	0	250,000	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	4,573,000	0	4,573,000	0	4,573,000	
旅費	696,000	0	696,000	0	696,000	
消耗品費	1,690,000	0	1,690,000	0	1,690,000	
会議賄い費	16,000	0	16,000	0	16,000	
印刷製本費	713,000	0	713,000	0	713,000	
使用料及び賃借料	65,000	0	65,000	0	65,000	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	65,000	0	65,000	0	65,000	
備品購入費	200,000	0	200,000	0	200,000	
図書購入費	150,000	0	150,000	0	150,000	
施設責任賠償保険	43,000	0	43,000	0	43,000	
職員等研修費	425,000	0	425,000	0	425,000	
振込手数料	0	0	0	0	0	
リース料	575,000	0	575,000	0	575,000	
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
自主事業費	1,863,000	0	1,863,000	0	1,863,000	
管理費総合計	56,271,700	0	56,271,700	0	56,271,700	人件費、事務費、自主事業費の合算
光熱水費合計	5,364,000	0	5,364,000	0	5,364,000	
光熱水費(電気)	4,416,000	0	4,416,000	0	4,416,000	
光熱水費(ガス)	27,000	0	27,000	0	27,000	
光熱水費(水道)	504,000	0	504,000	0	504,000	
光熱水費(下水道)	417,000	0	417,000	0	417,000	
清掃費	1,850,000	0	1,850,000	0	1,850,000	うち委託料 1850000円(予算)
修繕費	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000	
機械警備費	436,000	0	436,000	0	436,000	うち委託料 436000円(予算)
施設保全費	15,405,000	0	15,405,000	0	15,405,000	
空調衛生設備保守	732,000	0	732,000	0	732,000	うち委託料 732000円(予算)
消防設備保守	110,000	0	110,000	0	110,000	うち委託料 110000円(予算)
電気設備保守	682,000	0	682,000	0	682,000	うち委託料 682000円(予算)
害虫駆除清掃保守	300,000	0	300,000	0	300,000	うち委託料 300000円(予算)
その他保全費・園地管理	13,581,000	0	13,581,000	0	13,581,000	うち委託料 10465000円(予算)
共益費(合築等の場合)	0	0	0	0	0	
公租公課	5,094,000	0	5,094,000	0	5,094,000	
公租公課(事業所税)	0	0	0	0	0	
公租公課(消費税)	5,092,000	0	5,092,000	0	5,092,000	
公租公課(印紙税)	2,000	0	2,000	0	2,000	
その他公租公課	0	0	0	0	0	
事務経費	7,080,000	0	7,080,000	0	7,080,000	
事務経費(本部分)	7,080,000	0	7,080,000	0	7,080,000	
事務経費(当該施設分)	0	0	0	0	0	
その他経費(当該施設分)	1,760,000	0	1,760,000	0	1,760,000	
支出合計	96,260,700	0	96,260,700	0	96,260,700	
差額	0	0	0	0	0	

(参考) 指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	17,774,000	0	17,774,000	0	17,774,000
設置管理許可支出合計	10,142,000	0	10,142,000	0	10,142,000
差額	7,632,000	0	7,632,000	0	7,632,000

今年度の収支計画

- ・複数社からの見積り合わせや、複数施設での一括購入などによる消耗品費の縮減
- ・季節のおまつりや講座等の実施による自主事業収入の確保

(事業計画書様式8)

運営目標

項 目	取組み内容及び具体的な数値目標
業務運営1 (様式2: 運營業務の実 施計画・取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施 1回 ・アンケートの総合満足度の割合 75%以上
業務運営2 (様式2: 管理運営体 制、人員の配置と研修計 画)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画した人員の配置 ・研修・講習の実施 利用者対応、管理運営に関する研修 8件以上 園地管理に関する研修 7件以上 管理職研修 4件以上
業務運営3 (様式3: 利用者サービ スの向上・利用促進策)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けの花と緑の体験プログラムの提供 17件 29回 ・幅広い世代に向けたプログラムの実施 8件 27回以上 ・季節に応じた企画展の開催 18件 ・植物園ならではの大人向け講座の実施 13件 26回 ・都市緑化植物園としての機能強化 7件 ・利用者が自然に親しむための環境整備 2件 ・地域防災力の強化への貢献 2件
業務運営4 (様式3: 広報・プロモーションの 取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・こども植物園ブログの更新 36回 ・児童遊園地ブログの更新 36回 ・こども植物園だよりの発行年3回 ・こども植物園情報の発行年4回 ・こども植物園年間スケジュールの発行年1回 ・当団体の季刊誌への情報掲載 4回 ・フリーペーパーでのコラムの掲載 12回 ・3区の広報誌の掲載 36回
業務運営5 (様式3: 市民協働、市 民主体の活動の支援、地 域人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> ・公園ボランティアとの連携 5件 80回 ・園芸団体との協働 3件 ・市民団体の活動支援 4件 ・障害者の自立を支援する取り組みに協力 2件 ・人材育成 2件
業務運営6 (様式3: 本市の重要施 策を踏まえた取組・環境 への配慮)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーデンネックレス花壇の設置 1箇所 ・グリーン電力や再生エネルギー100%電力の導入
業務運営7 (様式4: 公園の魅力 を高める施設保全・管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のスペシャリストによる相談業務 随時 ・伝統園芸植物、日本の園芸文化を伝承する企画展 5回以上
業務運営8 (様式4: 施設(建物 等)、設備の維持管理、 修繕計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常巡視・点検を実施 毎日(年末年始を除く) ・定期点検(公園点検)を実施 月1回 ・市公園施設点検マニュアルに基づく定期点検の実施 4回

	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯温室出口の梁の交換修繕
<p>業務運営 9 (様式 4 : 樹木、植栽等の管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・著名な植物のストックを育成・準備 通年 ・児童遊園地ヤマユリの生育環境の整備 冬季に草刈 1 回 ・バラ新規導入 5 株以上 ・ミステリーローズ育成 9 株 ・病虫害の予防的防除、発生時の注意喚起・処置の実施 随時
<p>業務運営 10 (様式 4 : 巡視・清掃)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始除く毎日 2 回の巡視 ・特別巡視の実施 随時 (気象警報解除後、震度 5 弱以上の地震発生時) ・年末年始除く毎日のトイレ清掃、屋内清掃 ・こども植物園 温室高圧洗浄清掃
<p>収支 (様式 7 : 収入確保、経費節減策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費の節減、前年度予算から 500,000 円以上の縮減 ・自主事業での収入確保 1,400,000 円以上